

審議会等会議録

審議会等の名称	令和元年度第2回山口市立図書館協議会
開催日時	令和元年10月31日（木曜日）10：00～12：00
開催場所	山口市役所 別館 1階 第1会議室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	安光会長、吉村副会長、大野委員、國弘委員、黒田委員、坂田委員、中原委員、原田委員、山口委員、山本委員
欠席者	中村委員、縄田委員
事務局	中央図書館長、小郡図書館長、秋穂図書館長、阿知須図書館長、徳地図書館長、阿東図書館長、中央図書館副参事、中央図書館管理担当主幹、中央図書館サービス担当主幹
議題	1 図書館まつりについて（小郡、阿知須、徳地、中央） 2 その他
内容	○会長 「第2回図書館協議会」を開催させていただきます。議事の「図書館まつりについて」の説明を事務局からよろしくお願いします。 ○事務局 それでは資料1です。小郡図書館から順番にその概要についてご説明をさせていただきますと思います。それでは小郡図書館からよろしくお願いいたします。 ○小郡図書館長 小郡図書館です。よろしくお願いいたします。着座にて説明させていただきます。 A4、1枚チラシの資料1をご覧ください。 まずタイトルに「ついに！ライリー現る！」とあります。その横のハテナマーク小郡図書館のキャラクターの「ライリー君」です。 資料1の上に駅の表示板を模して「小郡図書館」と記載され、左向きの矢印で、「150万人」、右向きの矢印で「200万人」とあります。これは小郡図書館が、今の場所に平成20年11月に移転いたしまして、この9月25日に入館者150万人を達成し、小さなセレモニーを開催させていただきました。平成27年12月に100万人を達成し、おかげさまで順調に入館者は伸びておりまして、今度は右側の矢印の入館者数「200万人」に向かって出発しようとするものです。 チラシ全体は鉄道を模したものになっております。といいますのも旧小郡町が鉄道とともに発展してきたまちであるということで、図書館内には鉄道に関する資料も充実しており、鉄道をイメージしたチラシにしております。鉄道とライリー君を縦軸にして、今回の「図書館まつり」の企画をしております。開催は11月3日の日曜日10時から17時までです。同時に毎年、旧小郡町からの文化祭と福祉祭りを同じ敷地内で開催していますので、地域をあげて盛り上げていこうということで

ございます。そこに図書館も10年前から加わっています。

資料1の裏側になりますが、駅名掲示板にいろいろな行事を載せています。まずは「ブックリサイクル」ですが、結構な数の本が集まっております。

『「図書館の本から生まれた作品展」本がきっかけで生まれた素敵な作品を本と一緒に展示しています。』というのは図書館の本を借りられて、新聞紙を使ったバッグや手芸品、図書館の本からヒントを得て、それをイメージさせて完成した作品を作者の方に持って来ていただいて展示をします。今年で9回目となります。同じ方が来場されることが多いのですが、今年来てくださった方には「来年はこちらに来るだけではなくて、作品も是非、展示してくださいね」とお伝えして、積極的に生涯学習を絡めましてPRをしていこうと思っております。

また、「おはなし会スペシャル」については午前と午後の開催です。

「たのしい万華鏡作り」では、レシートプリンターの芯を使って万華鏡を作っていただきます。

最後は「ライリーと記念撮影会」で、段ボールに布切れを貼ったライリー君をの中に職員が入り、妖精に扮して撮影会を行います。

そういった楽しい企画を計画しております。おそらく天気も良さそうなので、ぜひ、小郡図書館へ来ていただけたらと思います。以上です。

○会長

ありがとうございます。それでは次は阿知須図書館でよろしいですか。

○阿知須図書館長

阿知須図書館の「第17回きらら館まつり」についてご説明いたします。開催日は、11月3日（日曜日）の文化の日でございます、9時から15時まで開催いたします。

チラシに掲載されておりますが、内容につきましては、まずは「本のリレー市」でございます。これは市民の方に不要になった本を図書館へたくさんお持ちいただいております、読書推進の観点からも無料で読みたい市民の方にお持ち帰りいただくものでございます。

「こども体験広場 ツリーを作ってみよう」というコーナーをラウンジルームに設けまして、子供たちの好きな色紙でツリーを作ってもらいます。

また、「おはなしをたのしむ☆」のコーナーでは、阿知須図書館のボランティア団体「おはなしきらきら」によるおはなし会を実施いたします。また例年、好評をいただいている輪投げ等を実施し、さらに子供たちに好評な「おしりたんてい」の上映会を開催いたします。

また図書館祭りでは例年、市民から喜ばれております「バルーンアートワークショップ」を開催いたしまして、図書館内を素敵な風船の世界に統一することで来館者に楽しんでもらおうと思っております。職員が色紙で現在、花くす玉を手作りしています。「花くす玉引きコーナー」を返却カウンターの横に設置いたしまして、紐を手繰って引いた綺麗な花くす玉を来館者に持って帰ってもらおうと思っております。

す。

また図書館で本を借りていただいた方には一人一回「くじ引き」を引いてもらいます。雑誌の付録や図書館に関係するボランティアの方からはグッズを寄付していただいておりますので、それらの物品等をくじで当てて持って帰ってもらおうと思っております。

また移動図書館については午後に図書館前駐車場に来てもらいます。子供たちが楽しめるような企画が多いですが、こういった形で阿知須の「図書館まつり」を実施しようと思っております。以上でございます。

○会長

次は徳地図書館でよろしいですか。

○徳地図書館長

「とくち図書館まつり」の概要についてご説明させていただきます。

「とくち図書館まつり」はバーベキューコーナーなどの農林業まつり、特産品販売の商工まつり、徳地文化展、ステージイベントなどの徳地フェスティバルと同時開催されるものでございます。

そのような事情から来場者は通常の図書館利用目的の方だけではなく、各地からいろいろな方々の来館が予想されますので「ワイワイ図書館」のような雰囲気になるのではないかなと考えております。

このように大きな規模になることから、全体の日程を勘案いたしましても、「図書館まつり」のイベント項目について時間設定をすることは困難であると判断いたしました。今年度は「おかゆの会」による絵本の読み聞かせについてのみは午後２時から開始という時間設定をさせていただきました。他のイベントについては特段、開催の時間帯を設けておりません。

まず開館後のスタートイベントでは「おいしいおかゆの会」のご協力をいただき、例年ご好評をいただいているブックリサイクルからスタートするのではないかと考えております。本年度は例年よりも冊数を多く確保することができましたので、多くの方々に渡ればと願っております。

それから特に今年度は地域との連携強化を掲げておりますことから、徳地地域で活躍されております団体である「幕末放談の会」や徳地和紙人形を製作されている団体等による展示コーナーを設置いたしまして、多くの方々に徳地の資料、情報の発信をできればと考えております。

今年度は「図書館まつり」の広告塔と申しますか、目印であった移動図書館の「ぶっくん」が都合により残念ながら不在ですが、先ほども言いましたが「幕末放談の会」の会員の方によりますコスプレによるPRをしようといったことを伺っております。

その辺りで来館者を呼び込めるのではないかと考えております。限られたスペースではございますが、幼児対象の「お魚釣りまつり」等についても随時スペース配分を考慮した上で行えたらと思います。以上でございます。

○会長

ありがとうございます。この3館でのイベントは11月3日に行われるということですね。それでは次は「山口市中央図書館まつり」の説明でよろしいでしょうか。

○中央図書館長

お世話になっております。中央図書館です。11月3日は3つの図書館を回ろうと思っております。よろしくお願いいたします。

中央図書館の「まつり」については11月24日の開催でございます。10時から開始でございます。目玉は「天使のいる図書館」の上映会です。もう一つは栗林和彦さんの写真展です。これはサンデー山口に連載されている図書館周辺の写真を展示するものです。

具体的にチラシを見ていただきますと、まずは「ブックリサイクル」です。これはどこの図書館でも行われています。

「点字で名刺づくり」、「対面朗読体験」、「おはなしひろば」、「天使のいる図書館」の上映会、「こどもスタンプラリー」、「ブックカバーを作ってみよう!」、「WANTED! この本を探して!」、「図書色見本みんなでつくる出会いの本棚」、「栗林和彦写真展」、「コーヒーテイスティング」が他としてございます。

「コーヒーテイスティング」は図書館の隣にありますスターバックスさんのご協力をいただき、小さいコップではありますが、スターバックスさんのコーヒーを提供していただけることになっています。

それから、山口県立大学の学生さんにも大変なご協力をしていただいて、いろいろな企画等をしていただいております。皆様、よろしくお願いいたします。以上です。

○会長

それについてですが、「山口県立大学文化創造学科学生コラボ企画」が、8、9、10番のイベントに関わっております。

学生による企画ですが、なにぶんコピー印刷の色が薄くて見えづらいです。何とか心の眼で見ただけいたらと思います。

「ブックカバーを作ってみよう」、「WANTED! この本を探して!」だけではなく、「クエストをクリアして報酬をゲット」という名前の当初は行ってよいものかどうか判断に迷うような企画もありました。

しかしながら、その企画名について、学生は絶対に「課題」や「問題」という文言を用いて譲るようなことはしたくなかったようで、「クエスト」という文言を用いない限りは納得して取り組めなかったそうです。さらに難易度についても上級や中級等に等級分けして問題を作るそうです。

この企画は、実は授業の一環でさせていただいております、「地域文化実習ⅠとⅡ」の講義に相当します。これについては中央図書館の岡村さんをはじめ皆様方からのご指導を多分に賜っている次第でございます、ここの指導を引き続きしていただけることをとても嬉しく思います。

当日はどういった形のイベントになるのかワクワク、ドキドキしております。もしよろしければ「ブックカバーづくり」や「クエストをクリアして報酬をゲット」に参加してみてください。よろしくお願いいたします。他のイベントについては既にご紹介が終わっておりますので、これでよろしいでしょうか。

11月3日まで、私はいつも行かせていただいているわけではないですが、ちょうど山口県立大学の「華月祭」という大学祭が行われています。3日目のこの時間帯には同窓会である「桜園会」による「大くじ引き大会」も行われますので、そちらへ移動させていただきます。このときは天気に恵まれて無事に成功することを祈っております。

さて、先ほどお聞きしたところで徳地以外の図書館には移動図書館の「ぶっくん」は出掛けていくのでしょうか。

○中央図書館長

「ぶっくん」は阿知須図書館のみです。

○会長

小郡には行かないのですか。

○中央図書館長

「ぶっくん」は南部に1台しかなく、阿知須と小郡の祭りは同日開催となるからです。残りの1台は阿東にあります。

○会長

以前は時間を決めて動いていたように記憶しておりました。それはもうしないということですか。

○中央図書館長

小郡では図書館以外の他の祭りと兼ねている、例えば小郡で文化祭と兼ねるような状態となりますと、そこへは車が入れないです。

○会長

そうですね。おっしゃるように小郡図書館では我々が駐車するスペースの確保すら難しい状況ですからね。徳地もその日は図書館周辺が賑わっているとのことですからね。そういう事情であれば仕方がないです。

何かこれにつきましてご質問はございますか。よろしいでしょうか。また何かございましたら後ほど伺います。一旦、次の事項へ移りたいと思います。

次は「その他」となっておりますが、事務局から何かありましたらご説明をお願いいたします。

○事務局

それではご説明させていただきます。事務局からは2つございます。

まず資料5をご覧ください。A3カラーの二つ折りになっている「山口ゆめ回廊図書館めぐりスタンプラリーについて」です。

第1回の図書館協議会におきまして、「市立図書館の貸し出しに関する要綱」の中で、山陽小野田市を貸し出し対象として追加したという形をご報告させていただ

ております。その中の「県央連携都市圏域暮らしの価値創造プロジェクト」におきまして、公共サービスの相互利用を進めるということで、山陽小野田市を加えたという形でご案内をいたしております。

この中央連携の部分で図書館めぐりのスタンプラリーを現在、実施しているものでございます。山口県央連携中枢都市圏域というのは7市町でございます。山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、津和野町の7市町で構成されております。これらで共催いたします17箇所の図書館の参加によるスタンプラリーという形で、今回は実施いたしております。

実施期間はもう始まっていますが、10月12日から翌年の1月19日までとしておりまして、本スタンプラリーでは先ほど申しましたように、圏域内の図書館の相互利用を促進することを目的といたしております。

この期間中に4市町以上のスタンプを集ますと、抽選で200名の方に記念品を贈呈することになっています。また、7市町全てのスタンプを集められた場合にはノベルティグッズをもれなくプレゼントします。また、ダブルチャンスといたしまして、全てのスタンプを集められた方のうち20名に商品が当たります。

資料5をお開きください。山口市は6館、宇部市は2館、萩市は3館といった形で、それぞれ可能な図書館が今回はスタンプラリーに参加しております。100%の図書館が参加しているわけではございません。対象圏域が広いので全てを回るのはかなりハードルが高いと思いますが、こういった形で周っていただいて、是非ともいろいろな図書館を見ていただくことを目的としております。

また最後のページになりますが「イベント情報」といたしまして、各市町において10月から始まったスタンプラリーと付随する形でいろいろな祭りをを行うため、「このようなイベントをしています」といったご案内をさせていただいております。

先ほど申しましたが、本市におきましては11月3日の3館による図書館まつり、11月9日の「室積光氏の講演会」、11月24日の「中央図書館まつり」という形で本市からはご案内をさせていただいております。今でも1日に何名かの方がそのスタンプを押しに来られるということがあります。

以上をもちまして、スタンプラリーのご案内とさせていただきます。

○会長

スタンプラリーに加えて、もう一つ説明があるとおっしゃっていましたが、どの件でしょうか。

○事務局

もう一点のご説明ですが、資料6をご覧ください。

「まちじゅう図書館」についてです。新しいサービス計画の下、「街中で本が読める環境を少しずつ整えていきましょう」という意味合いの趣旨で、これまでの一年間にカフェなどの店舗へ本を50～60冊ほど持って行ってまいりました。この10月の試行から本格実施ということで始めているものでございます。その概要について説明をさせていただきます。

まず「目的と概要」です。本市では、街のさまざまな場所で本に親しむ機会にあふれた「いつでもどこでも本のあるまち」の実現に向けて、街中の人が集まる場所にサテライトライブラリーを設置する「まちじゅう図書館」を展開しています。

また、サテライトライブラリーの設置にご協力いただいた事業者様には、図書館においての店舗運営のノウハウや専門性を生かした講座などを実施していただくということにしております。

事業者様にさせていただく業務内容として、1つ目はサテライトライブラリーの設置がございします。そのためのスペースを確保していただきまして、図書館から月に1回配送されて来るコンテナ2個に入った本50～60冊を来店者に無償で提供していただきます。

特に有料で何かの本を見ていただくということではなく、来店していただく方に無償で本を見ていただくということにするものでございします。もちろん下にある店舗のご利用がある方に閲覧は限定しておりますので、「店舗をご利用されない方に本を見られるようにしてくれ」という内容の話にはなっておりません。

それと「ワークショップ等の開催」ということで、中央図書館においてワークショップを年2回程度ですが、無償で実施していただくということにしております。ただし、材料費等の実費については参加者等に負担をしていただくこととしております。

実施期間につきましては、今年の9月に事業者を募集いたしまして、10月から来年9月までの1年間を予定としております。また、次年度以降は公募により決定したいと思っております。記載の10店舗へ本を持っていくこと、ならびにそこをワークショップとしていくこととなっております。

1から5番につきましては、これまで試行でやっていたカフェになります。「COFFEE BOY」さんがございまして、小鯖にある「HANAKAGE」さん、湯田温泉にあるジェラート屋の「Pelo」さん、それから平川エリアにございします。「COFFEE AND PLANTS」さん、さらに宮野エリアにございします猫カフェの「GATO」さん。

そして6番からが新しいところになります。大内で工務店をされている方が運営されていらっしゃる「cafe de sense」さん、7番目が朝田エリアにある美容院「SARA」さんです。8番目については小郡の駅南にある「ローズデンタルクリニック・ベビーサロン」さんというところでございまして、こちらは複合施設となっております。歯科、助産院、託児所、エステ等もやっておられるところになります。9番目は「Cafeはなめ」さんというところなんです。最近、新聞でご覧になられた方もいらっしゃると思いますが、そこで火事があって再建されたという内容の記事でした。その店舗に今回は設置することとなりました。最後はイベント型カフェの「Cafe RENDEZVOU」さんというところで、阿知須にございします。外国からの留学生がいらっしゃって、雑貨販売やカフェをしておられるところになります。

また、「講座等」の箇所についても見ていただければと思います。

これまではカフェが多く、コーヒーを中心とした内容や「HANAKAGE」さんのようにお花を扱った講座が中心でした。

今回から変わったところでは、工務店さんが入ったことから「珪藻土塗り体験」、美容院さんが入ったことで「ヘアスタイル講座」、さらに10番のところの「RENDEZVOU」さんでは留学生さんがおられることから、そういった方々との国際交流体験をするといったバラエティーに富んだ講座を開催できるのではないかと考えております。

「まちじゅう図書館」の説明については以上です。

○会長

ありがとうございました。この2件でよろしいですね。

「山口ゆめ回廊図書館めぐりスタンプラリー」では7市町の17の図書館が参加されるということで、既に始まっております。10月12日から1月19日までの開催ということですね。それともう1件は「まちじゅう図書館」のことで、今までは5箇所の開催であったものが10箇所に増えたということでした。

○事務局

申し訳ありません、一点ほど述べさせてください。「まちじゅう図書館」についてはこれまで5箇所ではなく、6箇所で行ってまいりました。今までは「豆子郎」さんがそこに入っておりましたが、今回は応募されていません。

○会長

不参加についてはそのお店のご都合もあるかと存じます。また参加をしていただければと思います。どちらの案件についても結構ですが、ご質問等はございますか。

○委員

認識不足で申し訳ないのですが、そこ（店舗）で読むために図書館の本を置いてあるだけなのか、それとも貸し出しまで含めて行うのですか。

○事務局

「まちじゅう図書館」では図書の貸し出しをしておりません。そのため、その場で読んでいただくということになります。したがって軽めの本と申しますか、重い読み物ではなく、旅やアート等のブラウジングするような本をできるだけ、そこへ持っていくようにしてまいります。あとはお店からのリクエストに対応する本も混ぜて持ってまいります。

○会長

その他にございますか。〇〇委員さん、お願いします。

○委員

「まちじゅう図書館」と「スタンプラリー」について、昨年は何名の方の利用がありましたか。

○事務局

正確な資料を今は持ち合わせておりませんが、月当たりで100名～200名くらいが利用されたというアンケート結果であったと記憶しています。

「スタンプラリー」は開始して間もない部分もあり、そちらの参加者数は未集計でございます。参加者数につきましては、改めてご案内をさせていただきます。

○会長

そうすると回答としては100名程度の参加ということによろしいですか。

○事務局

申し訳ございません。今は正確な数字を出すことが難しいため、後ほどお伝えするということによろしいでしょうか。

○会長

わかりました。他にご質問はございますか。それでは私から伺います。

「まちじゅう図書館」の（候補に）手を挙げる事業者さんはいらっしゃると思いますが、その設定数には上限があると思います。というのも10軒ぐらいが回ることをできる上限ではないでしょうか。それとも逆に、もう少し軒数を増やしていこうとお考えでしょうか。最初から何軒ぐらいといった想定をされてのことでしょうか。地域によっては「別の地域でも行ってほしい」という意見もあるかもしれないですが。

○事務局

今年度の募集については12店舗を予定しておりまして、「1つのお店が2回実施すれば（24回の実施となるため）、月に2回の（イベントの）検討をできる」と考えて、12という数を設定しました。回ることができる限界はあると思います。まずは12店舗で設定しました。

○会長

ちょうど良いぐらいの数字で周れる範囲内ということでしょうね。

もう一つ聞いてもよいでしょうか。その場合、移動図書館は本体の図書館とは別に本を所有しているのでしょうか。移動図書館と本体の図書館とは別の枠組みになると思います。図書館本体から本を抜いてきて（移動図書館と同じように）「まちじゅう図書館」に配布するものでしょうか。

○事務局

別物になります。あくまでも「まちじゅう図書館」という名の図書館を別個に作っているという仕様です。

○会長

「移動図書館用」と「まちじゅう図書館用」との資料が揃えられているということですね。

○事務局

そうです。

○会長

わかりました。ありがとうございます。他によろしいでしょうか。いろいろな試

みをされているので、興味や関心を持たれる方も出てくると思います。今まであまり図書館に足を運ばなかった人に対して、いろいろな取り組みをされているのでこれを契機に足を運んでいただけるようなことになるかもしれません。

個別に見ますと、開館当初と比べて入館者が減っているところもあるかもしれません。様々な取り組みをされることで利用や貸し出しが増えれば、将来、図書館年報で通史的に見たときに、その傾向が分かると思います。またそこについても教えていただければと思います。

今でなくても結構です。例えば「5年くらいで流れがどうなっていくのだろうか」と思うところはございます。

それではよろしいでしょうか。質疑応答も一通り行いましたので、事務局からもこれで終わりにしてよろしいでしょうか。

本日はもう少し時間がございますので、日頃から図書館をご利用になられて、何かお気づきやご意見等があればここで頂戴したいと思います。いかがでしょうか。

〇〇委員さん、どうぞ。

〇委員

小郡図書館友の会の「鉢の子」からでございます。前回の協議会でご紹介させていただきましたように、北部を除いた市内で読書活動をしているグループの調査を行い、そのまとめを冊子にしているところへ配布をさせていただいております。

中央図書館長さんのお計らいで地域交流センター等にも置かせていただいて、特に山口市役所の入ったところにそれを置きますと、そこから持って行かれる方が多いです。

それを見られた方からのご意見では「こういうものを探していた」といったお声をたくさんいただいています。

これは私たち「鉢の子」の事業として行ったものなので、小郡に住んでいる方々が「どこの図書館を使うのかな」ということを把握するために実施したものです。

したがって北部を除かせて実施させていただいたのですが、好評を得ているので、是非とも山口市全部で調査をやってはどうかと思う、ご提案をさせていただきます。

小郡の人が徳地や阿東方面の図書館へ再々と出掛けるということは考えにくかったのですが、阿東や徳地に住んでおられる方の中には中央図書館を利用される方もいらっしゃいます。したがって全員を対象にした調査を行い、そのような活動を探されている、あるいは関わりたいと思っている方々を拾うことが必要であると考えています。

〇会長

これはご提案ですが、どのようにして取り扱えばよろしいでしょうか。図書館としてなのか、それとも団体としてということでしょうか。

〇委員

こういった形であれば実現できるのかを教えてくださいたいと思います。

○会長

どこの主宰でされるのでしょうか。「鉢の子」さんが主宰となって全域調査をされるのでしょうか。図書館側のサポートが調査用紙を置くことだけではなく、他に何らかの形の支援が必要であるのかといったところが分かればと思います。そのような形でこれに関するご意見を出せばよろしいでしょうか。

○委員

「(全域調査を) やってみよう」となれば一番良いのですが、そもそも「必要すらない」というご意見もあるかもしれません。したがって、(全域調査が) 必要なのか不要であるのかを聞き取ることから始めてもよろしいでしょうか。

○会長

はい、もちろんです。これは委員さんにお聞きしてもよいでしょうか。先行きがよく見えていないのでどう扱ってよいのか分かりません。まずは委員さんにお聞きしてみますか。

○委員

そうですね、事務局のほうからでも構いません。

○会長

今は南部地域を中心としてということでしたが、北部も調査対象に含めてはどうかということで、調査対象を広げていこうということです。そうすると主宰はどこになりますでしょうか。

○委員

こちらでは分かりかねます。

○会長

そこをもう少し詰めておかないといけないと思います。図書館側からしてみても、急に意見を求められるようでは回答するのが難しいのではないかと思います。

私としては、全域調査の取り組みはとても大切であると思います。ただし主宰やお金、編集側の問題もあるので、そこを詰めることが先決かと思います。それとも、そういったことまで含めた形でのご意見を求められるということでしょうか。

○委員

当方の一番の希望は市民団体の一つである「鉢の子」から離れて、市主導で全域調査を行っていただくことです。

○会長

紙1枚の企画書でもあれば、もう少し先が見えてくると思います。館長の皆様方はいかがですか。

○中央図書館長

ネットワークを借りてということであれば実施しやすいと思います。お金もかかる話ですし、ご存知のように図書館職員も業務で手が塞がっていることから、具体的な方法の話は控えさせていただきます。調査の際にご協力をするということについては

努力を惜しまないつもりです。

○会長

市役所や地域交流センターへ出掛ける若い方や、その地域に移り住んだ方にとってはそういった資料があればより助かると思います。反響もあるのではないかと思います。全域に広げることは良いことです。もう少し詳細を事前に打ち合わせをして、もし今後、市としての調査をされるということになれば、私どもにもその旨を言っていただけたらと思います。団体で声を上げているところもあるので、そちらで協力できる部分もあるのではないかと思います。そのような方向性でよろしいでしょうか。

○委員

今度の協議会ぐらいまでに打ち合わせをしておいたらよいということですか。

○会長

そうですね。「どの程度の事ができて、ここの部分を行うのが難しい」といった具体的なことが事前に分かれば良いと思います。どこが結局は主宰になるのか。それ以外にも後援なのか共催で行うのかといった問題もあります。例えばの話ですが、山口市には「トネリコ」があるので、そこと一緒に実施するのかといったことです。

そこについてもよく分かっていませんが。

秋穂地域については今回の対象に含まれていますか。

○委員

今回は外しました。

○委員

申し訳ないですが、秋穂では誰も（調査票を）手に取らないのが実情です。と申しますのも、小郡には転勤で引っ越されてくる方々が多くいらして、情報を求められると思います。しかし、秋穂で「わざわざ他所の読書団体を知りたいと思う人がいるかどうか」と聞かれたら、申し訳ないのですが「非常に少ない」と言わざるを得ません。

したがって全域の情報としてまとめられたものが市のホームページ等に掲載されるというようなことであれば話は別ですが、各所で作業してまで作るようなものではないと個人的には考えます。こちらから（調査結果の）案内をしてみても、どうも反応が薄いです。

○会長

地域によって関心の差はあるかもしれません。特にそのエリアに定住されているご年配の方が多いと、なかなか手にしてもらえないかもしれません。そういったご意見も出ましたが、いかがでしょうか。お願いいたします。

○委員

「本の仲間たち」というものが阿知須図書館に置いてあったので、それを送ってもらいました。これを見ながら、随分と昔からされていることが分かりました。とても興味深く拝読いたしました。

この「子ども読書活動推進計画」を山口市の教育委員会さんが作っていらっしゃいますが、この形のままでどこに置いてあるのかも分かりません。先生が先ほどおっしゃられたような形でお忙しいとは存じますが、子育て支援や図書館のホームページを用いて地図と一緒に具体的に「ここの図書館にあります」とか「活動日がいつである」ということがあればそこへ来所しやすいですが、情報が不足していると「いつか行ってみたいが、どこで実施されるのだろう」といった疑問を抱いたままの状態になってしまいます。

しかし、これを見て「あの図書館のことなのかな」といった推測をすることができましたので、「子ども読書活動推進計画」とセットにして情報を詳細に拾うことができるようなホームページ等があれば、皆様方の中から「私も読み聞かせをしてみたい」と思われるような方が出てくると思います。

○会長

ご意見をいただき、ありがとうございます。また今後に繋がると思います。他にいかがでしょうか。

○委員

県のホームページですが、私は環境団体に属しているので、例えば宇部でどういった環境団体があるかといったことを検索できるシステムは有しておりますが、山口市内に引っ越してきた人、子育て中の人、生涯学習を始めようとされる方、新しく仕事を始められる方にとっては（全域の図書館の情報は）役に立つため、新しく調べることが不可能であっても、現在調査中の内容を市のホームページに掲載していただいて、そこからさらに情報を収集して膨らませていくという方法もあると思います。

本来であれば全域調査を行うべきであると考えます。山口市の中央部については絶対的な（調査結果の）需要があると思います。

○会長

ありがとうございます。山本委員さん、いかがですか。

○委員

先ほどのお話にもあったように北部での調査は大変かも知れませんが、あまり人の動きというものがないので、知りたい情報については直接、聞きに来られます。

そういったときにスタンダードとなるようなものがあるとよいと思います。そういったものを作っていただければ、徳地には特に若い方があまりおられないということもあるので、他所の多くの情報が入ってくれば嬉しく思います。お母さん方からは「自分の子どもにはいろいろな本を読んであげたい」というお気持ちが見えますので、是非ともそういった需要がある際にはよろしくお願ひしたいと存じます。

○会長

ありがとうございます。他の地域の方はよろしいでしょうか。せっかく今まで調

査をされてきたのですから、例えば図書館の位置に加えて連絡先等の情報等をどこまで入れて公開していくのかといったことも含めて調査のあり方を確認しないといけないと思います。

○副会長

「情報としての全域調査は必要ない」とのご意見も出ましたが、私としては山口市全体で一体化した図書館情報誌については今までのご意見を伺ってきたところ、必要であると思っています。

ただし、こういった性格のものにしていくのか。小郡地区に限れば、そのエリアだけの情報の需要しかないかもしれないが、全体に広げれば需要のあり方も変化してきます。基本的に全域調査は重要であると考えています。

中央図書館でもそういったところをもう少し詳細に検討していただきたいです。

次の協議会か、もしくは急がないのであれば次年度にお話ができればと思います、予算も関わる話なので。

○中央図書館長

ホームページを作るにしても新しい窓を作る必要があり、時間を要してしまいます。

○副会長

ホームページの作成は外注していますか。それとも別途、自分たちで作成可能ですか。

○中央図書館長

既存のホームページに加えて、それ用の入り口を作る必要があるということです。そこについては余裕を持たせる形にしたいと思っています。どちらにせよ、その構築には費用もかかります。

そういうこともあるそうなので、その辺について少し協議と検討をしていただき、その結果をこの協議会に反映していただければと思います。

市立中央図書館ではここでの議題に触れることになると思います。

もしくは市としての協議内容として諮っていくのかも含めて考えていきたいです。

○会長

まとめてくださり、ありがとうございます。

それでは事前に中央図書館の館長さんと相談しながら、実施の可否等を含めてご検討いただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

他に何かお気づきの点はございますか。各図書館を利用して不便に感じたところなどはございませんか。不便に限らず良い点もお話いただければと思います。

○副会長

その他の意見が先ほどあったように思いましたが・・・。

○会長

すみません。そうでした。どうぞ。

○委員

お忙しい教育委員会の方や図書館の方によって申し訳ないのですが、子育て支援に関するホームページは娘の子どもの保育園探しの際にはとても便利でした。市役所のホームページの中でも子育て支援のホームページは完成度が高く、検索しやすかったです。そこへ追加する形で図書館に関する情報を盛り込んでいただくのも手かなと思いました。どこの方がホームページ作成の担当者さんであるのかは存じ上げませんが。

前回も申し上げましたが、私たち阿知須のお話ボランティアで「おはなし会」をするときに、阿知須図書館の本として以前の旧阿知須町の図書館のときの本をそのまま皆さんで運んで持ってきてから行っていました。それからまた図書数は増えたのですが、古い本が多くなってきて読む本もなくなってきました。

そのため秋穂図書館さんや小郡図書館さんに頻繁に新しい本を借りに行っております。秋穂図書館さんや小郡図書館さんには乗り物、動物、赤ちゃんの絵本等が豊富に揃えられています。県立図書館さんからもたくさんの図書を借りて「おはなし会」で使っています。

その際に「この本は小郡、秋穂図書館でもありますから借りられます」と（親御さんに）言えるのですが、県立図書館からとなると個人では借りられないです。そうすると「県立図書館へ閲覧しに行ってください」と言わざるを得ません。

○委員

県立図書館は個人で予約して取り寄せることができますよ。私もそれをしたことがあります。

○委員

旧阿知須町の公民館の図書館では貸し出し延長ができましたが、今の図書館では延長ができず、「その手続きは自宅からホームページにアクセスしないとできません」と言われました。

○委員

私は個人で行ったので、可能であったのかもしれませんが。団体での貸し出しや延長については団体の代表の方の個人名義で手続きをされてみてはどうでしょうか。そこは納得していただけましたか。

○委員

はい。車を所有している人であれば自由に動けますが、「ブックスタートでもっと子どもたちに本を読んであげたい」と思ってベビーカーを押しているお母さんたちにはせめて、もう少し楽に手続きが取れるようにしていただきたいです。

就園すれば幼稚園、保育園、学校に図書が多くあるのですが、未就園のお子さんへの資料費は限られていると思います。例えば赤ちゃん用の絵本を逐一、インターネット検索できるような時間がない方にとっては、それ用のコーナーを充実させていただきたいと思います。

しかし、阿知須図書館ではそれ用の図書が一箱しかありません。赤ちゃん絵本の

コーナーについてはもう一箱くらい増やしたいです。そのあたりに資料費を回していただけたら嬉しいです。

それと「人口割りで資料費は決まっていますよ」と言われるのですが、意外と阿知須には未就園児が多いです。阿知須保育園の定員は120名、佐山保育園は110名です。私の娘は職場が山口市であるため山口市の保育園をお申し込みしましたが、「まだ50人以上が待機中ですし、あなたの住所は宇部市ですから、山口市の保育園は諦めてください」と言われました。そのくらいたくさん子どもさんがこの周辺にはいらっしやいます。自由にインターネットを使うゆとりがない保護者さんたちが図書を借りやすくなる状況を作っていただけたらと思います。

一方で返却システムについては山口市のものは良いと思っています。県立図書館で山口市内の図書館の本も返すことができますし、検索エンジンもとても良くできています。

「エンドウ豆の上に寝たお姫さま」という本の内容がうろ覚えであったため、検索をしようとした際に「エンドウ豆」、「お姫さま」という検索ワードを入れただけで、県立図書館ではヒットしなかったのですが、市立図書館の蔵書検索ではすぐにヒットしました。「エンドウ豆の上に寝たお姫さま」がアンデルセン作であること、その冊数や所在位置まで示されていて、とても良い検索システムです。大変助かっています。

○会長

最後は良い方向の話で終わったのですが、お話の間の部分で「人口割で予算を割る」ことについて変えられないのかよく分かりません。資料費のことであると思います。ただし、図書館の中での裁量と申しますか、どういう部分に重点を当てて選書するのか。そのことではないだろうかとは私は判断しました。予算をどこに増やす、減らすといったことについて、私は市の担当者ではないので分かりません。

その辺りを考慮しつつ、世帯の人員構成に応じたコーナーを充実させることも一手法であると思います。また中原館長さんにご検討されてみてはどうかと思います。ただし、全体の利用者の層も関わることであると思いますので、そこを考えて納入される本を選んでいるのではないかと思います。

他に「検索システムもとても優れている」というお話もございました。他によろしいでしょうか。それでは、お願いいたします。

○委員

愛メイトで奥の部屋（中央図書館共同利用スペースのこと？）を使わせていただいておりますが、ある外部の団体の方から使用希望がございましたが、「外部団体への貸し出しはしない」ということをお聞きしました。そこの使い方に関する規則や規約はあるのでしょうか。むしろそういった方々に使用していただくほうが喜ばしいのですが。

○会長

この件については図書館協議会でも過去に懸案事項で出たことがございます。規

約や判断基準の存在はあるのでしょうか。

○中央図書館長

奥にある3部屋を1部屋にした所は、主に図書館主催やそれに関連する者が使用することを想定しております。その上に多目的室がありますが、そこであれば図書館と関係のない団体からの使用相談を承っております。多目的室まで含めた全ての使用を外部団体に禁止するものではございません。

○委員

「新しくできて、使い勝手が良さそう」となれば、そういう申し出もあるでしょうね。

○中央図書館長

奥の部屋についてはあくまでも図書館主催のものの使用に限っております。

○委員

愛メイトが使うことは大丈夫なのですか。

○中央図書館長

こちらは中央図書館のボランティア団体であるため使用許可を出しています。

○会長

前回から出されている使用許可、不許可の問題でした。他にございますか。

○委員

先日ですが、ニューヨーク公共図書館の映画鑑賞会があり、その後で中央図書館さんとYCAMさんとトネリコサロンさんとの共催で「観て語り合おう会」という催しがございました。私もすごく行きたかったのですが、仕事があって行けませんでした。

そこでの話し合いの内容と、その話し合いを受けて市の図書館として何らかの動きがあるのかどうかについて伺いたいです。

これから何回もそういった機会があればいいなと思っております。今度は私も行きたいと思いますので、次の開催があるのかどうかについてもお尋ねしたいと思います。

○会長

どうでしょうか。図書館の方から回答をお願いいたします。

○中央図書館長

公共図書館についての「語り合おう会」は、映画について語り合うことをスタートとしておりますので、かなり要望が出たのですけれども。「語り合おう会」は図書館の運営方針を決めるものではありませんので、企画としての意見は受けますが、それに対するお答えは控えさせていただきます。

「ニューヨーク公共図書館エクス・リブリス」については、図書館を大前提とした映画であって、こういう類の映画は珍しいと思います。今後、図書館とは関係のない映画を上映することについてはYCAMさんからは好意的な意見をいただいています。

	実際にこれは財団さんがされることですので、私が上映内容を決められるものではありません。映画についてはあくまでもYCAMさん主導でされています。今後のことについて語るのは私からは差し控えさせていただきますが、悪いことではないという風潮は承っております。 ○委員 第2回目の実施はないということですよ。 ○会長 今の「ニューヨーク公共図書館エクス・リブリス」の「語り合おう会」の2回目をとということですか。 ○中央図書館長 その予定はないです。 ○会長 あのときは私が司会をさせていただきました。かなり多くの方に来ていただきましたが、時間も60分しかございませんでした。皆様からご意見をいただいたのですが、「時間が短かった」というような意見の方が多かったのではないかと思います。というのも、私はまだそのときのアンケート結果を拝見しておりませんので。若い方からは「そういう語り合いのつもりはなく、映画についての鑑賞会であると思っていた」という意見や「現実的な山口市立中央図書館のサービスや県立図書館のサービスにもっていくこと」を述べるような人もいらして、捌くのがとても難しかったです。その辺りについても私が事前に想定して、当日の冒頭に述べればよかったと反省しています。 是非ともこういう機会があると良いと思います。ニューヨーク公共図書館と山口市立中央図書館、県立図書館とを比べれば母体や規模も違います。迅速に比較できるものではありませんが、我々はいろいろなことに目を向けることで図書館サービスを知ることにつながります。移民、ホームレス、高齢者に関する扱いなどもあるため、そういった視点での考察も必要かと思います。すぐに比べるということではなく、学ぶということが必要であったと思います。 既に11時を過ぎてしまいました。予定としてはこの辺りで終了しないといけないうのに、私が長引かせてしまいました。まだご意見等があるかと存じますが、一旦、閉じさせていただきます。
	山口市立中央図書館 TEL 083-901-1040